



牛牧小だより

令和7年5月号

瑞穂市立牛牧小学校

今年度、初の授業参観

4月24日(木)に、今年度最初の「授業参観」がありました。子どもたちは、お家の方に授業の様子を参観していただき、緊張しながらも、大変頑張っていました。学校では「見通しをもって粘り強く取り組むこと」「自分の考えを広めたり深めたりすること」「考えを明確にし、自分のものにする」とを大切にして取り組んでいます。



1年生を迎える会

4月22日(火)に、「1年生を迎える会」を開きました。5年生がつくる花のアーチを1年生がくぐって入場しました。「さんぽ」の曲に合わせて手拍子する上級生が見守る中、ちよっぴり恥ずかしそうな表情で体育館に入ってきました。

上級生は、1年生に「校歌」の歌声をプレゼントをしました。1年生は、「ドキドキドン! 1年生」の歌を身振りや手振りを交えながら元気よく歌いました。また、上級生代表の児童が1年生に向けて温かい歓迎の言葉を話したり、校歌を覚えてくれるように模造紙に書いた歌詞をプレゼントしたりしました。優しさがあふれる、心温まる会になりました。

今後も児童の豊かな心を育む活動を大切にしながら進めていきます。



大事な事って、たいていは面倒くさいんだよ!

毎日の生活の中で、「もう、食事の準備の時間だ。」「掃除がまだだった。」「もう、仕事に行く時間だ。」など、めんどくさいと感じることはありませんか。

「面倒くさい。面倒くさい。ああ、面倒くさい。」

これは、『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』など、ジブリ作品を制作したアニメ監督、アニメーターの宮崎 駿さんの口癖です。この言葉を繰り返しながら、『風立ちぬ』のアニメーション制作では、約2年の月日をかけ、1500 に及ぶカットを 300 人のスタッフを動かしながら、1つ1つ仕上げて映画を完成させたそうです。宮崎さんはテレビ番組の取材に、「その過程は、面倒くさいことの連続で、面倒くさいって自分の気持ちとの闘いだった。」そして続けて、「世の中の大事なことって、たいてい面倒くさいんだよ。」と、話してみえました。

人は、めんどくさいと感じた時にとる行動は2つあります。1つは、めんどくさいからやらない。もう1つはめんどくさいけれどやってみるです。「めんどくさい」は、ネガティブに捉えがちですが、「めんどくさい」と自分が感じていることは、本当は大切に思っていることなのです。「めんどくさい」を乗り越えた先には、きっと、達成感や充実感、幸福感、生きがいといった、かけがえのない価値あるものに出逢えるのではないのでしょうか。

子どもたちにも、まずはやってみることに、挑戦することを大切にしていきたいと思います。それは、「できた」「わかった」「もっとやってみたい」といった姿につながっていくと考えます。